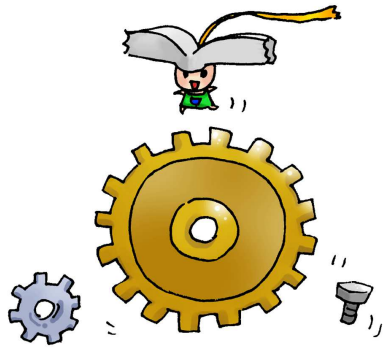


「指導と評価の一体化」を意識した 授業づくりについて



令和5年6月2日(金)
広島県教育委員会事務局
学びの変革推進部
義務教育指導課

義務教育指導課
公式Facebookです！
「いいね」で登録の上、
ぜひご覧ください(人_)



義務教育指導課マスコットキャラクター
読書大好き！ **ずびんちゃん**
です。

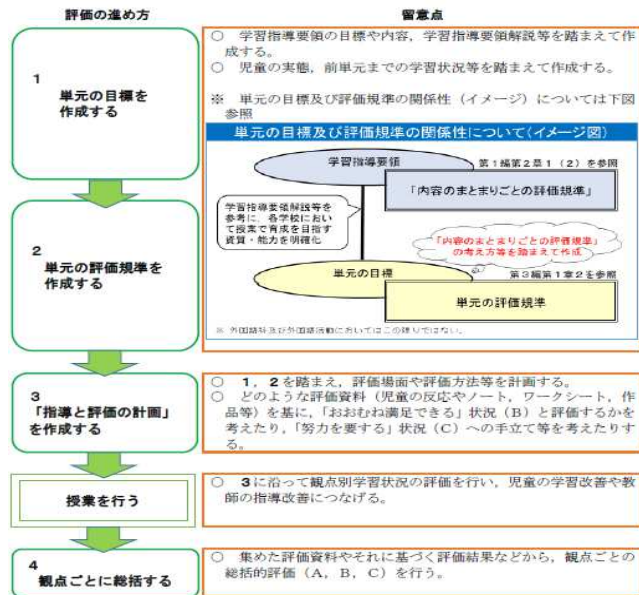


「中学校教科教育推進研修（国語）」

地域の中核となる国語科教員が4～5名のグループを編成し、「読むこと」において、文学的な文章を比較し、分析・批評する授業を構想、実践しました。作成した学習指導案・評価問題3本とともに、図書館の活用や選書と著作権についても掲載しています。



単元計画から評価までの流れ



単元を構想する際、
どこから、どのような順番で
考えますか？



国語科における単元の評価規準作成のポイント

2 単元の評価規準の作成のポイント

小学校国語科においては、次のような流れで授業を構想し、評価規準を作成する。
年間指導計画等を基に、単元で取り上げる指導事項を確認する。

Step 1
単元で取り上げる
指導事項の確認

Step 2
単元の目標と
言語活動の設定

Step 1 で確認した指導事項を基に、以下の3点について単元の目標を設定する。

- 「知識及び技能」の目標
- 「思考力、判断力、表現力等」の目標
- 「学びに向かう力、人間性等」の目標

①、②については、基本的に指導事項の文末を「～できる。」として示す。
③については、いずれの単元においても当該学年の学年の目標である一領域を「～している。」や「～できる。」と示す。
単元の目標を実現するために適した言語活動を、言語活動例を参考にして位置付ける。

ここに示された手順に沿って
一緒に再確認しましょう！

単元の評価規準を作成する。
単元で育成を目指す「知識及び技能」の指導事項の文末を「～できる。」として作成する。育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて作成することもある。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の設定の仕方
単元で育成を目指す「思考力、判断力、表現力等」の指導事項の「～している。」と示す。文末を「～している。」と示す。育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて作成することもある。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の設定の仕方
以下の①から④の内容を全て含め、単元の目標や学習内容等に応じて、その組合せを工夫することが考えられる。文末は「～しよう」として示す。なお、④内の言葉は、当該内容の学習状況を例示したものであり、これ以外にも想定される。

Step 3
単元の指導と評価
の計画の決定

Step 4
単元の指導と評価
の計画の決定

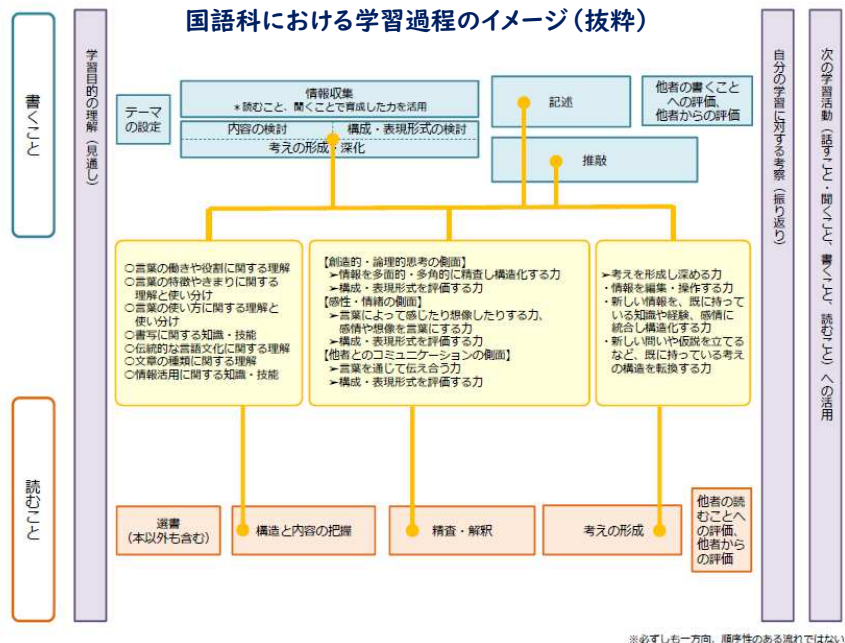
Step 5
評価の実際と手立
ての想定

①粘り強さ（積極的に、進んで、粘り強く等）
②自らの学習の調整（学習の見直しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等）
③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）
各時間の具体的な学習活動を構想し、単元のどの段階でどの評価規準に基づいて評価するかを決定する。

それぞれの評価規準について、実際の学習活動を踏まえて、「おおむね満足できる」状況（B）、「努力を要する」状況（C）への手立てを想定する。

1 単元で取り上げる指導事項の確認

国語科における学習過程のイメージ(抜粋)



※必ずしも一方、順序性のある流れではない。

平成28年 中央教育審議会 教育課程部会「国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめ」より

1 単元で取り上げる指導事項の確認

C 読むこと

	(小) 第1学年及び第2学年	(小) 第3学年及び第4学年	(小) 第5学年及び第6学年
	(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
構造と内容の把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
精査・解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選り出すこと。 エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。 エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりなどと結び付けて具体的に想像すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
考えの形成	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
共有			

学習過程の中で、本単元ではどこに重点を置くか

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」平成29年7月 文部科学省 P206

1 単元で取り上げる指導事項の確認

「C読むこと」領域の構成

学習過程	(1)指導事項			(2)言語活動例		
	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
読むこと	ア	ア	ア	ア(説明的な文章を読む活動)	イ(文学的な文章を読む活動)	ウ(本などから情報を得て活用する活動)
構造と内容の把握(説明的な文章)				ウ(本などから情報を得て活用する活動)	イ(文学的な文章を読む活動)	ア(説明的な文章を読む活動)
構造と内容の把握(文学的な文章)	イ	イ	イ			
精査・解釈(説明的な文章)	ウ	ウ	ウ			
精査・解釈(文学的な文章)	エ	エ	エ			
考えの形成	オ	オ	オ			
共有	カ	カ	カ			

今回の改訂では、**学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。**なお、ここに示す学習過程は**指導の順序性を示すものではない**ため、**アからカまでの指導事項を必ずしも順番に指導する必要はない。**

また、[知識及び技能]の「読書」に関する事項との関連を図り、**児童の日常の読書活動に結び付くようにすることが重要である。**

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」平成29年7月 文部科学省 P36

1 単元で取り上げる指導事項の確認

学習指導要領解説を読み、それぞれの指導事項がどのような資質・能力の育成を目指しているのか、具体的に確認しましょう。

教材分析を踏まえて、身に付けさせたい資質・能力が教材の特徴と適合しているかも考えてみましょう。



第1 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、**言語活動を通して**、
国語で正確に理解し適切に表現する資質能力を次の
とおり育成することを旨す。

言語活動は、資質・能力を育成するための手段ということですね。
言語活動を行うことが単元の目的とならないように
注意しましょう。

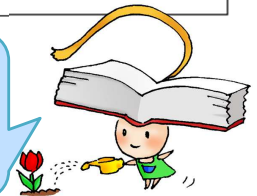


(参考)「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」平成29年7月 文部科学省 P11

C 読むこと

	(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。		
言語活動例	ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。	ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。	ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。
	イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。	イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。
	ウ 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。	ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。	ウ 学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。

学級実態を想起するとともに、これまでの児童の
学習経験を踏まえて、どのような言語活動を設定すると
効果的に資質・能力が育成できるか、という視点で
考えましょう。



「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」平成29年7月 文部科学省 P206

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」事例4
を例にとると…



単元で取り上げる指導事項

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。【知識及び技能】(1)オ
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。【思考力、判断力、表現力等】C(1)エ
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

1 単元の目標

- (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。【知識及び技能】(1)オ
- (2) 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。【思考力、判断力、表現力等】C(1)エ
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力、人間性等】

2 単元で取り上げる言語活動

物語を読んで、理解したことに基づいて、感じたことや考えたことを文章にまとめる。
(関連：【思考力、判断力、表現力等】C(2)イ)

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.66

2 単元の評価規準の作成のポイント

小学校国語科においては、次のような流れで授業を構想し、評価規準を作成する。

Step 1

単元で取り上げる
指導事項の確認

- ・年間指導計画等を基に、単元で取り上げる指導事項を確認する。

Step 2

単元の目標と
言語活動の設定

- ・Step 1で確認した指導事項を基に、以下の3点について単元の目標を設定する。
 - (1)「知識及び技能」の目標
→(1),(2)については、基本的に指導事項の文末を「～できる。」として示す。
 - (2)「思考力、判断力、表現力等」の目標
→(2)については、基本的に指導事項の文末を「～できる。」として示す。
 - (3)「学びに向かう力、人間性等」の目標
→(3)については、いずれの単元においても当該学年の学年の目標である「言葉がもつよさ～思いや考えを伝え合おうとする。」までを示す。
- ・単元の目標を実現するために適した言語活動を、言語活動例を参考にして位置付ける。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.38

2 単元の目標と言語活動の設定

2 学年の目標

各学年の目標は、教科の目標に示す(1), (2), (3)に対応して、2学年のまとめりに、次のように示している。

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が
思考力・判断力・表現力等	や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになる。	や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。	や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになる。
人間性等	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

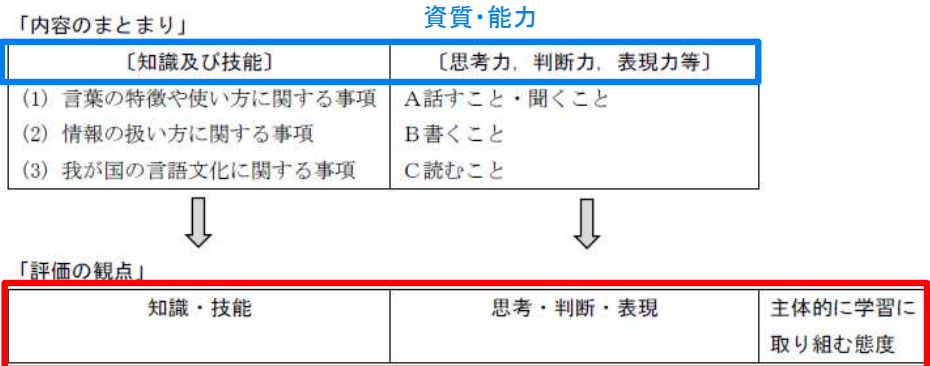
語尾の「態度を養う」を除いて単元の目標とする

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」平成29年7月 文部科学省 p.14

3 単元の評価規準の設定

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する。

「内容のまとめり」と「評価の観点」との対応は、以下のように整理する。



つまり、〔知識及び技能〕は「知識・技能」、〔思考力、判断力、表現力等〕は「思考・判断・表現」と対応している。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.30

3 単元の評価規準の設定

○精査・解釈(説明的な文章)

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

第1学年及び第2学年では、アの指導事項で順序を考えながら文章の内容の大体を捉えたことを基に、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことを示している。

文章の中の重要な語や文とは、書き手が述べている事柄を正確に捉えるために、時間や事柄の順序に関わって文章の中で重要になる語や文、読み手として必要な情報を適切に見付けられる語や文などのことである。

考えて選び出すとは、例えば、「書き手が伝えたいことは何かを考える」、「自分が知るべきことについて詳しく知る」といったことを意識しながら、重要なと考えられる語や文を文章の中から見付けることである。

この学年で身に付けさせた力が次の学年にどのように生かされるのか、つながりを意識しましょう!



「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」平成29年7月 文部科学省 p.71

3 単元の評価規準の設定

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

(1) 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

一年間を通して、当該学年に示された指導事項を身に付けることができるよう指導することを基本とする。

○「知識・技能」のポイント

・基本的に、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する〔知識及び技能〕の指導事項について、その文末を「～している。」として、「知識・技能」の評価規準を作成する。なお、育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて評価規準を作成することもある。

○「思考・判断・表現」のポイント

・基本的に、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項について、その文末を「～している。」として、「思考・判断・表現」の評価規準を作成する。なお、育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて評価規準を作成することもある。

・評価規準の冒頭には、当該単元で指導する一領域を「(領域名を入れる)」において。」と明記する。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

・第1編で説明されているように、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面の双方を適切に評価できる評価規準を作成する。文末は「～しようとしている。」とする。「学年別の評価の観点の趣旨」においては、主として、①に関しては「言葉を通じて積極的に人と関わったり」、②に関しては「思いや考えをもちたりしながら(思いや考えをまとめたりしながら)、(思いや考えを広げたりしながら)」が対応する。①、②を踏まえ、当該単元で育成する資質・能力と言語活動に応じて文言を作成する。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.31

3 単元の評価規準の設定

Step 3
単元の評価規準
の設定

- 以下を参考に、単元の評価規準を作成する。
 - 「知識・技能」の評価規準の設定の仕方
 - 当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する〔知識及び技能〕の指導事項の文末を「～している。」として作成する。育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて作成することもある。
 - 「思考・判断・表現」の評価規準の設定の仕方
 - 当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項の冒頭に、指導する一領域を「(領域名)において、」と明記し、文末を「～している。」として作成する。育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて作成することもある。
 - 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の設定の仕方
 - 以下の①から④の内容を全て含め、単元の目標や学習内容等に応じて、その組合せを工夫することが考えられる。文末は「～しようとしている。」とする。なお、()内の言葉は、当該内容の学習状況を例示したものであり、これ以外も想定される。
 - ①粘り強さ(積極的に、進んで、粘り強く等)
 - ②自らの学習の調整(学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等)
 - ③他の2観点において重点とする内容(特に、粘り強さを発揮してほしい内容)
 - ④当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動)



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.38

3 単元の評価規準の設定

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語 事例4を例にとると…



単元で取り上げる指導事項

- 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。〔知識及び技能〕(1)オ
- 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	①進んで、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し②学習課題に沿って、感じたことや考えたことを④文章にまとめようとしている。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.66

3 単元の評価規準の設定

事例2 (主として「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法の一例)



1 単元の目標

- 世代による言葉の違いに気付くことができる。〔知識及び技能〕(3)ウ
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ
- 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

2 単元で取り上げる言語活動

- 世代による言葉の違いについて、書き表し方を工夫して意見文を書く。
(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ア)

3 単元の評価規準

目標に準換した評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世代による言葉の違いに気付いている。(3)ウ)	①「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ②「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。

令和4年度各教科等教育課程研究協議会【小学校 国語部会】当日資料より

3 単元の評価規準の設定

事例2 (主として「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法の一例)



B 書くこと 第5学年及び第6学年

ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	・粘り強く①、文章全体の構成や展開を考え③、学習の見通しをもって②事象を説明する文章を書こうとしている④。

上記以外に設定することが考えられる評価規準の例

・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) ・話し言葉と書き言葉の違いに気付いている。(1)イ) ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使っていることと	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	・積極的に①、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し③、学習課題に沿って②意見を述べる文章を書こうとしている④。
---	---	---

令和4年度各教科等教育課程研究協議会【小学校 国語部会】当日資料より

3 単元の評価規準の設定

事例2 単元の指導と評価の計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	(略)	(略)	(略)
2・3・4・5	<p>○上の世代との会話において感じる戸惑いや難しさの原因が何であるかを予想する。</p> <p>○ノートにまとめたことを友達と説明し合い、相互に質問したり気付いたりしたことを伝えたりして、自分の考えを整理する。</p> <p>○考えたことを読み手に伝えるために、文章全体の構成をどのようにするかを考え、文章構成表に基いて下書きをする。</p> <p>○友達と下書きを読み合う。</p> <p>○下書きを修正し、それを基に清書する。</p> <p>○清書した意見文を友達と読み合う。</p> <p>○学習全体を振り返る。</p>	<p>主体的に取り組みたくなる課題</p> <p>・収集した情報を使って戸惑いや難しさの原因を説明できるか、情報と「分かったこと」が対応しているか、「分かったこと」が明確かという点を友達と確認するように指導する。必要があれば修正を求める。</p> <p>・「始め」、「中」、「終わり」の各部分に書く内容の大体と配置を考えるように促す。</p> <p>・読み手の関心を引くために、「始め」において問いかけたり、自分の経験を示したりすることを盛り込むように促す。</p> <p>・頭括弧、肩括弧、必要に応じて</p>	<p>・「思考・判断・表現①」 文章構成表 ・筋道の通った文章構成になっているかの確認</p>
6	○ノートに整理したことを文章構成表に基いて下書きをする。	<p>・下書きを書く際は、客観的な事象による裏付けと合わせて自分が考えたことを示すという点に留意して、書き表し方を工夫できるよう助言する。</p> <p>・書き表し方について友達と助言し合うよう促す。</p> <p>・完成後は友達の考えや書き表し方のよさを伝え合い、自分の文章のよいところに気付くようにする。</p> <p>・自分の考えたことを伝えるために、どのように書き表し方を工夫したのかを振り返らせる。</p>	<p>【思考・判断・表現②】 意見文 ・考えを伝えるために書き表し方を工夫しているかの確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 振り返りの記述 ・粘り強く試行錯誤しながら書き表し方を工夫しているかの確認</p>

試行錯誤する場面の確保

適切な時間に評価の場面を設定

令和4年度各教科等教育課程研究協議会【小学校 国語部会】当日資料より

4 単元の指導と評価の計画の決定

各時間の具体的な学習活動を構想し、単元のどの段階でどの評価規準に基づいて評価するかを決定します。

- ・「指導に生かす評価」と、「記録に残す評価」の違いに留意しましょう。
- ・単元全体で資質・能力を育成できるように単元を構成しましょう。



4 単元の指導と評価の計画の決定

「指導に生かす評価」

主に「努力を要する」状況と考えられる児童の学習状況を確認し、その後の指導に生かすための評価のこと。

「記録に残す評価」

学級全員の児童の学習状況について、総括の資料にするために記録に残す評価のこと。



(参考) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 算数 令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.51

4 単元の指導と評価の計画の決定

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語 事例4 を例にとると…



<p>○ごんや兵十の気持ちが大きくなり変化した場面はどこかについて考えをまとめる。</p> <p>【場面の移り変わり】</p> <p>①ごんがいたずらばかりする場面</p> <p>②ごんがいたずらを後悔する場面</p> <p>③ごんがつたないを始める場面</p> <p>④ごんが兵十と加助の後をついていく場面</p> <p>⑤ごんが兵十と加助の話をこっそり聞いている場面</p> <p>⑥ごんが兵十にうたれてしまう場面</p> <p>⑦は、取り上げる二つの場面</p> <p>○うなぎのいたずらへのつたないを始める場面のごんや兵十の様子や行動、気持ちを想像する。(⑤の場面)</p> <p>○ごんが兵十にうたれてしまう場面のごんや兵十の気持ちの変化を考える。(⑥の場面)</p> <p>○学習課題に示された、ごんが兵十にうたれたかどうかについて、友達と考えを交流する。 ※図4参照</p> <p>○初葉の感想を振り返りながら、</p>	<p>・物語全体の場面の移り変わりを確認した上で、ごんや兵十のお互いに対する見方や行動が大きく動いた場面として、「ごんがつたないを始める場面」(⑤の場面)と、「ごんが兵十にうたれてしまう場面」(⑥の場面)を取り上げる。</p> <p>・ごんや兵十の気持ちとその根拠となった言葉や文をまとめるよう指導する。</p> <p>・表情やしぐさなどを想像しながら読むように指導する。</p> <p>・行動や会話、場面の状況を表す言葉などに着目するように指導する。</p> <p>・⑤や⑥の場面におけるワークシートを基にして考えをまとめるよう指導する。</p> <p>・友達の意見で参考になったことを適宜付箋にまとめるよう指示する。</p> <p>・これまでの学習を振り返り、</p>	<p>【思考・判断・表現①】 ノート ・ごんや兵十の様子や行動、気持ちの変化について想像しているかの確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 ワークシート・観察 ・ごんや兵十の気持ちの変化について場面の移り変わりや根拠を自分の考えをまとめるようとしているかの確認</p>
---	--	---

「指導に生かす評価」を行う場面
児童の学習状況を確認し、資質・能力を育成するための手立てを講じる。

「記録に残す評価」を行う場面
単元において資質・能力が身に付いたかを見るために適切な時間を設定する。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語 令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.67, 68

5 評価の実際と手立ての想定

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」事例4
を例にとると…

「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり
と結び付けて具体的に想像している。

「おおむね満足できる」(B)と評価した例

ワークシート(図1)に
書いた内容を取り上げ、
登場人物の気持ちの変化を
場面の移り変わりと
結び付けて書いている。

ごんは何度もくりやまつたけを兵十の家に
とどけます。でも、兵十は神様のしわざだと加
助に言われたことをしんじてしまいます。その
ため、自分がとどけているのを分かってほしい
というごんの思いは、兵十にはつたりませぬ。
そんなとき、兵十は家の中に入っていくごん
を見つめ、にくらしい、ごんぎつねが、またいた
ずらしをしにきたなど思い、火なわじゅうごん
をうってしまいます。たおれたごんにかけよった
兵十は、土間にくりがかためておいてあるのに
気づき、「ごん、おまえだったのか、いつもくりを
くれたのは。」と言います。ごんが目をつぶった
ままうなずくすがたを見て、兵十は火なわじゅう
うをばたりと取り落としてしまいます。火なわ
じゅうをばたりと思わず取り落とす様子か
しをつかないことをしてしま
の気持ちを感じました。
分がくりをとどけているの
いうごんの思いは、兵十につ

図2：児童1がごんの思いが伝わったかどうかについてまとめたノート

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.70より

5 評価の実際と手立ての想定

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」事例4
を例にとると…

「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、
場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。

児童に資質・能力が身に付いているのかに
ついて正確に見取るために、どのような
活動を通して評価するのか、事前に
具体的な想定をもっておきましょう。

書く活動であれば、分量や書きぶりなどの
表面的なことで評価がぶれることが
ないように!



5 評価の実際と手立ての想定

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」事例4
を例にとると…

「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、
場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。

「努力を要する」状況(C)と評価した児童には…

「うなぎを
ぬすみやがった
ごんぎつねめ」という
せりふから、兵十は
ごんのことを
どんなふう
に思っていたのかな。



再度物語を読み、
登場人物の気持ちが
想像できる叙述を
取り上げて、
その時の気持ちを
想像できるように指導

登場人物の気持ちの変化を、
場面の移り変わりと結び付けて具
体的に想像し、
理由を明確にしなが
ら記述できていない

(参考)「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語」
令和2年6月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター p.69より

単元を通して資質・能力を
育成することを意識し、
単元計画を作成して
ください。

